

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	甲状腺分化癌肺転移においてレンバチニブを導入する腫瘍径として 1cm は適切か
	研究目的	甲状腺分化癌肺転移においてレンバチニブを導入する腫瘍径として 1cm が適切なのか、その臨床経過や治療効果を解析することで、実臨床におけるレンバチニブの適切な導入タイミングを検討する。
	研究対象者	2015 年 4 月から 2022 年 3 月に神奈川県立がんセンターでレンバチニブ治療を行った 111 人の甲状腺分化癌患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 5 月 6 日～西暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	山崎春彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし